

24 家族関係と少年非行

岐阜女子短大 今井 光映

少年非行は家庭並びに社会の両空間から複雑に規定されるけれども、前者における諸関係のうち親の子供に対する態度——行動類型と子供の非行との間に如何なる函数関係・有意関係があるかを主として Nye の資料に基づいて把握し、親子関係統制管理の意義を認識することを目的とした。

(1) 函数関係についてみると、殆んどの態度——行動類型で非行との間には直線的ないし J 字型関係があるに対し、自由・叱責・助言（特に母親の）などに関しては

U字型関係がみられる。

(2) 子供の性別にみると、有意の関連は女の子の非行に関して多い。また対外的統制要素は男の子の非行と、一方内部的・精神的・直接的統制のそれは女の子の非行とヨリ関連がある。

(3) 親の性別にみると、直接統制的要素では父親の役割が、一方精神統制的要素では母親の役割が、それぞれ子供の非行とヨリ関連するけれども、一般に考えられている以上に父親の態度の意義は大きい。

(4) 子供の非行は家族関係における個々の態度——行動の独立的な反映ではなく、それらの連鎖反応的相互関連の反映であるけれども、親子の受容——拒否関係殊に親に対する子供のそれが最も根本的要素である。